

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場会社名 内外テック株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 3374 URL <http://www.naigaitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 権田 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 米澤 秀記

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 03-5433-1123

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	6,930	△41.0	△214	—	△232	—	△181	—
21年3月期第3四半期	11,753	—	△185	—	△214	—	△996	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△37.35	—
21年3月期第3四半期	△197.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	8,307	999	12.0	205.44
21年3月期	7,517	1,170	15.6	240.56

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 999百万円 21年3月期 1,170百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△27.2	△172	—	△197	—	△150	—	△30.82

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 5,072,000株 21年3月期 5,072,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 205,597株 21年3月期 205,597株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 4,866,403株 21年3月期第3四半期 5,053,516株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国等の海外経済の回復や大幅な在庫調整・緊急経済対策などの影響により一部持ち直しの動きが見られたものの、全体として企業の設備過剰感により投資が抑制され、また、雇用情勢の悪化やデフレの状態が解消されないため、依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループの主な取引先である半導体業界や半導体製造装置業界におきましては、ノートパソコン用DRAMや高機能携帯電話用メモリーの需要の伸びにより、台湾や韓国の半導体メーカーが積極的な投資に転じ、これにより半導体製造装置メーカーの受注に改善の兆しが見られ始めました。

こうした経営環境のもと、当社グループでは、前年度に実施した事業再編後の新しい体制のもとで、引き続き原価改善ならびに販売費・一般管理費の削減を図るとともに、営業活動の強化により受注獲得の取り組みを行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間での売上高は、取引先の投資抑制等の影響により69億30百万円（前年同期比41.0%減）となりました。損益面では、売上高の不振により営業損失2億14百万円（前年同期は営業損失1億85百万円）、経常損失2億32百万円（前年同期は経常損失2億14百万円）となり、四半期純損失1億81百万円（前年同期は四半期純損失9億96百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間（10月～12月）での売上高は30億62百万円、営業利益11百万円、経常利益6百万円、四半期純利益5百万円となり、当第1四半期及び当第2四半期連結会計期間に比べ、売上高や損益面は改善いたしました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①販売事業

電子機器・機械装置の販売事業におきましては、半導体メーカーの投資抑制等の影響により、売上高60億38百万円（前年同期比40.6%減）となり、また取引先からのコストダウン要請や売上の回復遅れにより、営業損失1億97百万円（前年同期は営業損失1億1百万円）となりました。

②受託製造事業

電子機器・機械装置の組立等の受託製造事業におきましては、取引先からの受注の先送りや取引先および当社グループに係る事業再編等の影響により、売上高12億22百万円（前年同期比49.4%減）となり、営業損失44百万円（前年同期は営業損失1億15百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億90百万円増加し、83億7百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金3億93百万円の増加や受取手形及び売掛金3億42百万円の増加等により流動資産が7億84百万円の増加となり、減価償却費等により有形固定資産が31百万円減少しましたが、投資その他の資産38百万円の増加により固定資産が5百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ9億61百万円増加し、73億8百万円となりました。この主な要因は、その他（事業再編に伴う未払割増退職金の支払等未払費用の減少2億4百万円等）が減少したのに対し、仕入高増加に伴う支払手形及び買掛金11億14百万円の増加により流動負債が8億99百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億70百万円減少し、9億99百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が当四半期純損失等により1億81百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ15.6%から12.0%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億60百万円増加（前年同期は3億61百万円の減少）し、19億41百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2億84百万円（前年同期は3億49百万円の使用）となりました。これは主に、仕入債務の増加額11億14百万円の増加要因があった一方、税金等調整前四半期純損失1億76百万円、売上債権の増加額3億43百万円及びその他減少額2億37百万円（未払割増退職金の支払等未払費用の減少額等）の減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億60百万円(前年同期は2億40百万円の使用)となりました。これは主として定期預金の現金同等物からの預入期間変更による増加額92百万円及び定期預金の担保差入れによる増加額51百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1億36百万円(前年同期は2億29百万円の増加)となりました。これは主として短期及び長期借入金の純増額1億78百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り巻く環境につきましては、国内景気は持ち直しつつあるものの、円高や公共投資の落ち込みが影響し足踏み状況が予想されます。

半導体業界や半導体製造装置業界におきましては、本格的な回復までには今しばらく時間がかかるものと予想されます。

このような環境下、当社グループの通期の業績予想につきましては、平成21年11月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出のに関して、実地棚卸を省略し前四半期連結会計期間に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,369,037	1,975,820
受取手形及び売掛金	3,013,901	2,671,290
商品及び製品	516,736	344,430
仕掛品	37,645	20,551
原材料及び貯蔵品	65,431	117,648
未収還付法人税等	—	87,542
その他	81,373	81,970
貸倒引当金	△3,993	△3,971
流動資産合計	6,080,133	5,295,281
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,111,124	1,111,902
その他(純額)	394,047	425,038
有形固定資産合計	1,505,172	1,536,941
無形固定資産		
	18,023	18,590
投資その他の資産		
その他	717,303	678,257
貸倒引当金	△12,671	△11,677
投資その他の資産合計	704,631	666,580
固定資産合計	2,227,827	2,222,111
資産合計	8,307,960	7,517,393
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,698,332	2,583,675
短期借入金	—	30,000
1年内返済予定の長期借入金	962,760	843,450
未払法人税等	7,588	4,936
賞与引当金	142	1,900
事業再編損失引当金	1,616	14,600
その他	214,883	507,012
流動負債合計	4,885,324	3,985,573
固定負債		
社債	—	40,000
長期借入金	1,839,614	1,749,973
退職給付引当金	474,152	466,102
長期未払金	96,443	96,443
その他	12,656	8,637
固定負債合計	2,422,866	2,361,157
負債合計	7,308,191	6,346,731

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	389,928
資本剰余金	322,078	322,078
利益剰余金	310,203	491,977
自己株式	△28,254	△28,254
株主資本合計	993,954	1,175,729
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,814	△5,067
評価・換算差額等合計	5,814	△5,067
純資産合計	999,769	1,170,662
負債純資産合計	8,307,960	7,517,393

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	11,753,666	6,930,050
売上原価	10,706,144	6,295,167
売上総利益	1,047,522	634,883
販売費及び一般管理費	1,232,959	849,769
営業損失(△)	△185,436	△214,886
営業外収益		
受取利息	5,309	2,781
受取配当金	3,717	2,542
仕入割引	5,807	2,236
助成金収入	—	11,029
その他	11,073	23,453
営業外収益合計	25,908	42,044
営業外費用		
支払利息	49,439	54,878
その他	5,775	5,022
営業外費用合計	55,215	59,900
経常損失(△)	△214,744	△232,742
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,450
役員退職慰労未払金戻入益	—	53,362
その他	—	1,943
特別利益合計	—	57,755
特別損失		
減損損失	43,670	1,287
事業再編損失引当金繰入額	437,996	—
特別損失合計	481,666	1,287
税金等調整前四半期純損失(△)	△696,410	△176,274
法人税等	300,456	5,499
四半期純損失(△)	△996,867	△181,774

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△696,410	△176,274
減価償却費	64,881	39,185
減損損失	43,566	1,287
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,740	1,015
賞与引当金の増減額(△は減少)	△119,488	△1,758
退職給付引当金の増減額(△は減少)	43,393	8,049
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△177,754	—
長期未払金の増減額(△は減少)	179,484	—
事業再編損失引当金の増減額(△は減少)	437,996	△12,983
受取利息及び受取配当金	△9,027	△5,324
支払利息	49,439	54,878
役員退職慰労未払金戻入益	—	△53,362
売上債権の増減額(△は増加)	630,572	△343,417
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,585	△137,183
仕入債務の増減額(△は減少)	△618,773	1,114,657
その他	△43,945	△237,866
小計	△209,910	250,902
利息及び配当金の受取額	9,242	5,748
利息の支払額	△46,383	△53,029
法人税等の支払額	△102,405	△6,772
法人税等の還付額	—	87,542
営業活動によるキャッシュ・フロー	△349,455	284,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,232	△92,531
定期預金の払戻による収入	38,669	—
担保預金の預入による支出	—	△51,948
有形及び無形固定資産の取得による支出	△61,984	△6,630
有形固定資産の売却による収入	4,136	1,310
投資有価証券の取得による支出	△2,382	△2,240
投資有価証券の売却による収入	—	174
その他	△19,110	△8,614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240,904	△160,480

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	685,000	—
短期借入金の返済による支出	△645,000	△30,000
長期借入れによる収入	900,000	1,360,000
長期借入金の返済による支出	△574,317	△1,151,048
社債の償還による支出	△60,000	△40,000
リース債務の返済による支出	—	△2,119
自己株式の取得による支出	△25,968	—
配当金の支払額	△50,702	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,011	136,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△361,354	260,737
現金及び現金同等物の期首残高	2,806,376	1,681,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,445,022	1,941,815

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	販売事業 (千円)	受託製造事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,102,425	1,651,241	11,753,666	—	11,753,666
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	67,629	765,161	832,790	(832,790)	—
計	10,170,055	2,416,402	12,586,457	(832,790)	11,753,666
営業利益又は営業損失(△)	△101,426	△115,090	△216,517	31,080	△185,436

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	販売事業 (千円)	受託製造事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,033,003	897,047	6,930,050	—	6,930,050
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,602	325,011	330,614	(△330,614)	—
計	6,038,606	1,222,059	7,260,665	(△330,614)	6,930,050
営業利益又は営業損失(△)	△197,811	△44,769	△242,580	27,694	△214,886

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。